

『喪失の冬を刻む』 デイヴィッド・ヘスカ・ワンプリ・ワイデン／著

吉野 弘人／訳 早川書房 933.77

先住民居留地に住むラコタ族のヴァージルは、重犯罪を取り締まらないFBIに代わって自警団として活動しています。そんな彼の甥ネイサンが違法薬物の売人という身に覚えのない罪で逮捕されてしまいます。ヴァージルは黒幕をとらえるためメキシコギャングの男を追います。先住民居留地の現在をリアルな筆致で描くハードボイルド作品です。



＊

『好きに生きて大丈夫』

いつも人に気を遣ってばかりで自分を見失ってしまったあなたへ』

ユン・ジョンウン／著 築田 順子／訳 SBクリエイティブ 929.11

完璧じゃなくても大丈夫。大人にも育つ時間は必要、といった生き方のアドバイスが著者の体験とともに語られているエッセイです。読んだ人の生きていくためにりきんだ力をふっと抜いてくれるような文章が収録されています。成人、という大人の1歩を踏み出した皆さんの生きる道を優しく支えてくれる言葉に出会える1冊です。



＊

『最初の質問』 長田 弘／詩 いせ ひでこ／絵 講談社 E

「今日、あなたは空を見上げましたか。」という問いで始まる1篇の詩。もしかしたら、授業の中などで、この詩を目にしたことがある方もいるかもしれません。この絵本には、そんな詩が優しい絵と共に描かれています。詩の問いにあなたはどうか答えますか？ 答えの中の言葉は、きっと人生を見つめるきっかけを作ってくれることでしょう。



『旅するクリームソーダ』 tsunekawa／著 ハーパーコリンズ・ジャパン

596.77

全国を旅しながら、オリジナルのクリームソーダを作る「クリームソーダ職人」のtsunekawaさんは、地域の食材を使い、出会った土地で思い出の1杯を生み出します。クリームソーダ越しに見える世界は、いったいどんな光景でしょうか？ 外出する機会も増え、どこか羽を伸ばしたいと思っている方へ送る1冊です。



＊

『つみきのいえ』 加藤 久仁生／絵 平田 研也／文 白泉社 E

おじいさんは、つみきをいくつも積み上げたような家に、ひとりで暮らしています。海の水がだんだん上がってくるので、家の上に家を作ることを繰り返してきました。ある日、また新しい家を作っていると、うっかり道具を海のなかへ落してしまいました。道具を拾いに海へ潜って、おじいさんは家と一緒に積み上げてきた人生のことを思い出します。



＊